No.65
熊広報
令和元年10月15日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
熊地区長　伊藤　誠
公民館長　満吉　保憲

敬老会開催

熊地区長　伊藤　誠

九月七日(土)熊地区敬老会を開催いたしました。良い天候に恵まれ開催できたことをうれしく思います。敬老会会員二百八十五名のうち百五名の皆さんが参加してくださいました。

熊地区長　伊藤誠

刈谷市副市長川口孝嗣様、社会福祉協議会常務理事近藤尚登様、衆議院議員大西健介様、民生・児童委員様、老壮会会長様のご臨席により会に華を添えていただき感謝申し上げます。なお、大西議員様には第二部の余興の合間にご挨拶をいただきました。

式典の終わりに会員を代表して、米寿の三浦富夫様が心のこもった謝辞を述べられました。

余興の最初は刈谷マジッククラブの神谷智子様によるマジックショウで開かれました。CDの真ん中の穴に色のついた布を入れ、こするだけでCDが布の色と同じに変色しました。紐をハサミで切っても切っても魔法の息を吹きかけると繋がってしまうのです。

ますます、洗練されたマジックでした。

第二弾は、元気な婦人会役員です。全員が肩に手をやり、リズム感いっぱいの入場です。メンバーをスタジオいっぱいに配員し、歌いながら振り付けもして、最後に入場と同じように退場。会場全部を使ったパフォーマンスでした。

第三弾は、熊民踊愛好会の五人の皆さんです。いずれもあでやかな着物で二つの題目を二人ずつで踊っていただきました。三つ目の題目は三浦美枝子さん一人の「荒波」です。着物にも題目と同じように荒い波の図柄が付いており、踊りそのものが元気いっぱいの荒波で素敵でした。

第四弾は、子ども会役員親子の元気いっぱいの「変装福笑い」です。二組の福笑いボードがあり、それぞれに一人の子供が目隠し付きの面白い変装をして、目、鼻、口を一枚ずつボードに貼り付けます。一組はまあまあの出来、もう一組はユニークな顔になり会場は笑いがいっぱいになりました。

参加者のみなさま

短い時間でしたが、会員のみなさまが楽しい時間を過ごされ、笑顔で帰られました。敬老会会員の皆様の今後のご健勝と長寿をお祈り申し上げます。

お祝いのことば

刈谷副市長　川口　孝嗣

本日、熊地区の皆さまの長寿を祝福し、敬老会を開催されるにあたり、一言お祝いを申し上げます。

熊地区の皆さまには、日頃から本市の福祉行政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

川口　副市長

本日、お祝いを受けられます皆さまは、長年にわたり様々な分野でご活躍され、郷土の繁栄と活力ある社会づくりにご尽力されました。ここに、改めて敬意を表し感謝申し上げますとともに、ご長寿を心からお祝い申し上げます。

厚生労働省によりますと、平成三十年の平均寿命は、男性が八一歳、女性が八七歳と、七年連続で過去最高記録を更新しております。

また、健康寿命につきましても、直近の調査では、男性が七三歳、女性が七六歳と、前回の調査の値を上回っております。特に健康寿命につきましては、都道府県別の順位をみると、男性の三位と女性の一位がともに愛知県ということであります。

本市におきましても、今年度中に数え百歳以上となられる方が七十七人いらっしゃるほか、最高齢の方は、今年で満百六歳を迎えられております。

このように、我が国は世界でも有数の長寿国であり、こうして多くの皆さまとご長寿を喜び合えることを、大変嬉しく思っております。

敬老会参加者のみなさま

また、五月には元号が令和に改まりました。これから新たな歴史が刻まれていきますが、大正・昭和・平成と、皆さまおひとりおひとりが歩んでこられた歴史も我々にとってかけがえのない大切なものだと考えております。その歴史を若い世代に語り継いでいただくことが、これからの刈谷の更なる発展に繋がるものと思っております。

この先も、皆さまに心豊かに暮らしていただくための取組みを、より一層、充実させてまいりますので、皆さまには私たちの人生の先輩として、何物にも代えがたい、知恵や経験に基づくお力添えを、是非ともお願い申し上げます。

結びとなりますが、本日お集まりの皆さまの、ますますのご健康とご多幸を心から祈念いたしまして、お祝いのことばとさせていただきます。

令和元年九月七日
刈谷市長　稲垣　武

敬老インタビュー

熊地区米寿代表者
三浦　富夫さん(熊野町)

三浦　富夫さん

現在夫婦二人で生活しており、生活パターンとしては、特別なものはありません。

健康に気をつかっていることは、一日三〇分くらい歩くことです。逢妻駅まで行って医王寺の下をくだってアイリスから田んぼを通って安養寺、「新海本店」を通って途中休憩して帰ってくるコースを歩いています。

趣味は、月一回、公民館でマージャンをすることです。老壮会の仲間十二人くらい集まって行っています。老壮会幹事が景品を買っておいてくれるのでそれが楽しみです。

体を使う趣味と頭を使う趣味があることが元気のヒケツとのことです。

また、私が車を運転して夫婦で東浦イオンまで買い物に出かけるのも日課の一つです。食料品買い出しをしながら、色々な店を観て回るので夫婦そろっていい運動になっています。

今回、敬老会に出席させていただいて感じたのは、子どもさんたちがお菓子をくばっていたことを、みなさんとても喜んでいるのが印象的でした。

これからの目標は、自分より年上のひとを見習いながら、健康第一に生活していくことです。

以上、インタビューを終えての印象は、米寿をむかえられた方とは、とても思えない元気な方でした。

(熊地区　広報　高岸　真弓)

米寿おめでとう

熊地区夏祭り

熊公民館長　満吉　保憲

本年度は、準備期間中の天候が悪く、「やぐら組立」などの準備工事を実施するべきか悩みました。

天気予報では、土曜日・日曜日の二日とも「曇り」だったので、当初予定通り工事は実施しましたが、雨が降る中の工事となってしまいました。

前日の金曜日に会場でテントを張っている最中にも、またまた雨が降ってきました。何とかテント設営を終えましたが、やぐらの飾りつけなどの準備作業ができなかったので、一日目の土曜日は中止として会場準備作業に充て、日曜日の開催に何とかこぎつけました。

一日だけの開催となってしまいましたが、グラウンド・ゴルフ、バルーンアートなどの催し物や盆踊り、景品が例年の倍になったお楽しみ抽選会など一層の盛り上がりがあったように感じました。

盆踊りの　やぐら

参加者についても、来賓のほか協力していただいた各団体等の皆さん、運営スタッフを含めると六五〇人以上の方々が参加していただき盛況でした。

雨の中、準備作業をしていだいた地区委員の皆さんをはじめ地域の皆さんのご協力をいただき開催できました。

誠にありがとうございました。

熊竹燈りの会よりお知らせ

熊竹燈りの会　代表　井上　直之

現在「熊竹燈りの会」会員は、二十七人で活動しております。

年間の主な行事としては、大万燈修復および中万燈・子ども万燈を四月～七月にかけて製作することです。

年明けには、刈谷市民ボランティア活動センター主催の「かりや　3・11を忘れない」イベントに賛同し、竹キャンドルで文字を形どり、震災犠牲者らを追悼しています。

今年の新作万燈「天草四郎時貞　魔界転生」は、残念ながら荒天候(台風6号の影響)により披露はできませんでした。新作披露が二年連続出来なかったというのは、とても残念ですが今後も思いを一つに、この活動を続けたいと思っています

万燈　製作風景

令和元年　万燈祭当日
出番を待つ万燈と
熊竹燈りの会のみなさん

「熊野歴史あれこれ」堰(せき)の川

熊郷土史研究会
副会長　三浦　洋治

堰の川は、豊田自動織機と愛知製鋼の間をぬけ、刈谷北高の北側から世古口クリニックの前を通り、亀城小学校の下の運動場(現亀城小学校・亀城公園の駐車場)の北側を経て、市原から衣浦湾にそそいでいた短い川です。

流域の田んぼのかんがい用に、ため池がところどころにつくられていました。現在は暗きょになっていて、見ることができません。

この川は、農業用水として、大切な水資源でした。水が澄んでいて、きれいな流れでしたので、はえ、ふな、もろこ、どじょう、めだかなどがたくさんいました。

子どもたちは、たけみなどを持って取りに行ったそうです。特に、はえがよく取れたそうです。夏には、ひめボタルが淡い光を放って川岸を飛び交い、幽玄境といった風情があったそうです。小さな沢がにが、よちよち歩くのどかな風景もみられたとのことです。

上流に工場が作られると、ずいぶん川の水が汚れていきました。

今では昔の面影もなく、刈谷市体育館の西側の逢妻川堤防を越えたところで一部をみることができるくらいです。

歴史博物館の見学を終えられたあと、時間があれば、清流だった「堰の川」に想いをはせてください。

はじめてのたいこ

いちねん　かみや　あんな

七月二十一日に、くまのこうえんでこどもかいの夏まつりにいきました。

わたしは、はじめてやぐらにのぼってたいこをたたきました。さいしょ、まちがえないかドキドキしたけど、じょうずにたたけたからとてもたのしかったです。

たいこ　たたき

ちゅうせんかい

さいごのちゅうせんかいで、二日ぶんのけいひんがあったから、なにがあたるのかたのしみにしていました。だけど、はこティッシュしかあたらなかったので、来年はすきなものがあたるといいなとおもいました。

熊地区敬老会

四年　酒井　陸人(りくと)

ぼくは、九月七日の熊地区敬老会に子ども会からのお祝いのだしものをするのに参加しました。子ども会のだしものは「へんそう福笑い」というのをやりました。ぼくは、お手伝いだったので、へんそうはしなかったけど、ぼくのお兄ちゃんがカツラとかヒゲとかつけてへんそうしました。おもしろい姿になっていたのでぼくは笑ってしまいました。

福笑いする子どもたち

へんそう福笑い

おじいちゃん、おばあちゃんも笑っていたので、ぼくもうれしくなりました。ぼくたちのチームは福笑いで負けてしまったけど、はくしゅしてもらってうれしかったです。

楽しかったお楽しみ会

六年　神野　美咲(みさき)

八月二十一日にお楽しみ会のスケートに行きました。私はスケートに行くのが三回目だったけど、とても楽しみにしていました。いつもは、よく転んで慣れたと思った頃に終わる感じであまりしっかりできなかったけど、今回は二・三回しか転ばないで、すいすいとすべれたのでとてもよかったです。

六年生なので最後のお楽しみ会だったので、とてもよかったです。トヨタのテクノランドでも、とても楽しくでき、参加できてよかったなと思いました。

熊っ子わくわく塾　参加者

塾長　三浦　洋治さん

「熊っ子わくわく塾」にいって

六年　深谷　悠人(はると)

ぼくは、八月二十六日にわくわく塾で将棋をしました。楽しかったのでずっと将棋にいましたが、妹は、はたおり体験をしていました。他にも、ペットボトルで風車を作ったり、ぬり絵のコーナーもありました。みなさんがいろいろ教えてくれたのでとても楽しかったです。非常食ハイゼックス米でカレーライスを作ってくれました。思ってたよりもすごくおいしかったので、もっと食べたかったです。

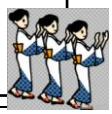
将棋教室

昼食　カレーライス

そして三河地震の話も聞きました。聞いているうちにすごく怖くなって、日頃から備えようとあらためて感じました。

婦人会からのお知らせ

婦人会広報長　正木　真由美



◇六月から七月にかけて、熊民踊愛好会さまにご指導を頂き、新曲を含め十曲盆踊りの練習を行いました。

◇あいにくのお天気で夏祭りは一日でしたが、太虎連や泉田小唄保存会の皆さまと共に、輪になり、楽しく踊ることができました。

◇刈谷市民盆踊り大会では、熊の音頭保存会、熊民踊愛好会、刈谷市婦人会はじめ、沢山の方々と共に楽しく踊り、やぐらの上では『音頭おどりの輪』を踊らせていただきました。

◇敬老会では、余興として『ビューティフルサンデー』を踊り『川の流れのように』を皆さまと一緒に歌いました。手拍子をしていただき、笑顔あふれる楽しいひとときでした。

泉田小唄保存会と共に

敬老会での余興

熊老壮会だより

熊老壮会　副会長　佐藤　裕子

八月二十三日、名古屋グランドボウルにて、**「ボウリングを楽しむ会」**を開催しました。

今年の参加者は一六名。熊老壮会員でない方も四名参加されました。

今回初めて参加いただいた方も何十年も投げていないからなぁと言いつつ、いつしか、本気の投球になっていました。

ハイタッチや拍手で歓声が上がり盛り上がりました。

参加者のみなさん

投球フォーム

あっと言う間の二ゲームでしたが、とても良い汗をかきました。

昔、若かったころ、大ブームであったボウリング、もう一度楽しんでみませんか？　こんごも多くの方の参加をお待ちいたしております。

「うれしいニュース」

刈谷市交通安全川柳の優秀賞に伊熊勝彦様の作品が選ばれました

助手席で　『免許返納』　妻の声

熊野神社だより

氏子総代会　広報　野々山　隆三

『神は人の敬により威を増し　人は神の徳によりて運を添う』

鎌倉時代に制定された、『御成敗式目』という武士政権のための基本法典。その第一条は、なんと神社に関する条項です。

〈神様は人々の敬いによって霊験がよりあらたかになり、昔からの慣習やお祭りを大切にすることで、人々は幸せになるのです〉とされています。

熊野神社では、祭祀の基本である月次祭を、毎月第二日曜日に行っています。雨天でも境内にテントを張って行います。毎週日曜日には、各町総代が交代で境内の掃除をしています。秋の大祭や、初詣の準備などには数か月をかけて行っています。

現代社会においては、お金にならないもの、目にみえないものには、とかく価値がないように考えがちです。しかしだからといって、先人たちが長い間かけて大切に守り続けてきたものを、一時代の価値観の変化によって絶やすようなことがあってはなりません。

今年も秋の大祭が、多くの方のご協力により、盛大におこなうことができます。

大変ありがたいことだと思います。いつの時代か、神様のお力が本当に必要になる日のために、もっともっと神社に参拝に来ていただき、元気な熊野神社の神様を後世に伝えていけたらと思っています。

◎協力金・奉賛金のご寄進をありがとうございました。

防災リーダーの紹介

自主防災会　副会長　近藤　輝和

愛知県のリーダー講習を修了された2名を含め、現在熊地区には30名の防災リーダーがいますので紹介します。

○あいち防災カレッジ修了者

森野邊栄次郎　笠松信子

○刈谷市防災リーダー養成講座修了者

・平成24年度修了者

柘植敏彦　鈴木富佐夫

・平成25年度修了者

三浦市太郎　三浦正明

・平成26年度修了者

山下明美　深谷実千代

池田千枝子　北川より子

・平成27年度修了者

三浦末二　浅岡明秀　近藤輝和

・平成28年度修了者

鈴木眞二　三浦俊和　金子和代

杉田千代子　黒川正道

・平成29年度修了者

神谷キヨ子　神谷茂

加藤洋子　杉田伊久代

・平成30年度修了者

神谷智恵　高橋貴子

東義和　満吉保憲

・令和元年度修了者

石原知敏　浅岡順市

近藤喜春　三浦巳好

令和元年度修了者

私たちも研さんを積んでいきます。熊地区の皆さんのいっそうのご協力をお願いします。

刈谷市消防団第四分団より

第四分団長　池田　裕介

初めに、日々の消防団活動に地区の皆さまのご理解とご支援に対しまして、厚くお礼申し上げます。

先日、六月九日に第三十六回刈谷市消防操法競技会が行われました。結果は残念ながら入賞できませんでしたが、訓練期間中は数少ない団員で力を合わせて取り組みました。

また、訓練や大会に応援に来ていただいた方々に厚くお礼申し上げます。

大会後の活動として地区の巡回、消防署での水防訓練、夏祭り警備をしました。

さて、最近では九州北部豪雨や千葉県で台風十五号による停電の被害が出ており、自然の脅威にさらされました。

熊地区でも今後このような災害が起きるかもしれません。熊地区の皆さんには、日ごろからしっかり備えをしていただき、有事の際には警報等の情報は早めに得られるようにしておいてください。最近ではテレビだけでなくスマホのアプリやSNSでもリアルタイムの情報が簡単に得られるので活用してみてください。

最後になりますが、これから空気の乾燥する季節がやってきます。火の元には十分注意していただき、災害のない熊地区にしていきましょう！

刈谷市消防操法競技会